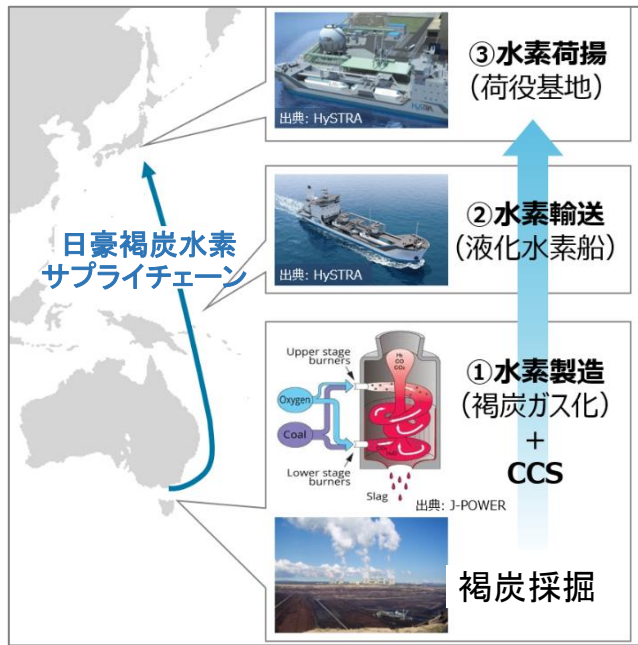


Ⅲ-3-⑪新燃料(水素、日豪プロジェクトと3カラー水素)

日本では、オーストラリアの未利用褐炭(*)からの水素製造とその海上輸送を含めたサプライチェーン構築の実証試験を行っています。

この場合に水素は、CO2回収とのセットで行い、水素製造によってCO2が増えることはありません。
 この試験等によって実用化が可能な技術を確認し、サプライチェーンを育成していくこととしています。
 なお、このほかにも、再エネから水素を作るプロジェクトも別途進めています。



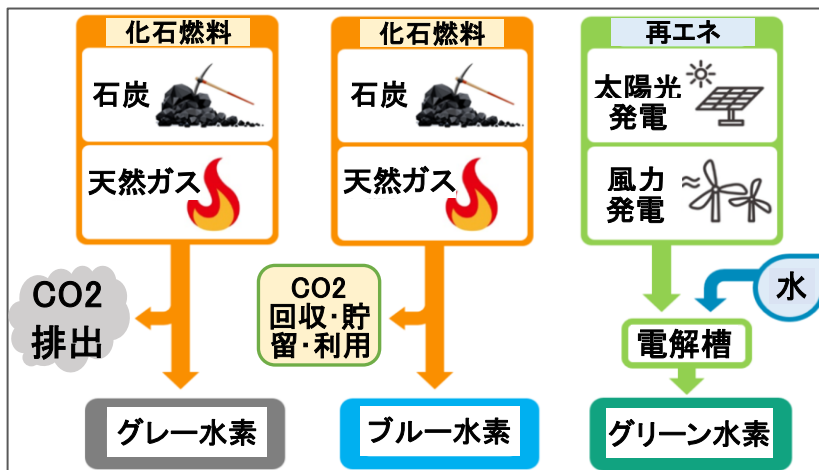
2019/12月、世界初の液化水素運搬船「すいそ ふろんていあ」が進水式を行いました。
 また、2022年2月には、オーストラリアから神戸港に水素が到着しました。これは世界初の快挙です。

(*) 褐炭は、低品位石炭で水分や不純物等が多いため未利用のものでオーストラリアには大規模にあります。

出典:資源エネルギー庁資料
 (スペシャルコンテンツ)

日豪褐炭水素プロジェクト

その製造プロセスによって、次のように分けられております。



出典:資源エネルギー庁資料
 (スペシャルコンテンツ)

製造方法別3カラー